

事項	バラの土耕栽培における適応品種（追加）																																
ねらい	輸入バラの影響などにより切りバラの単価が低迷する中、生産現場では収量性や高規格品が期待できる品種が求められている。民間育成品種の本県における適応品種を選定したので、参考に供する。																																
指導参考内容	<p>適応品種と特性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種名</th> <th>花色</th> <th>収量</th> <th>主な規格</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダンシングクイーン</td> <td>蕾時白色 開くと桃色となる</td> <td>多</td> <td>L～3L</td> <td>花色の変化に特徴あり。</td> </tr> <tr> <td>タニア+</td> <td>薄桃白色</td> <td>中</td> <td>L～2L</td> <td>花色に混じり無く、柔らかな桃色。花首がやや短い。</td> </tr> <tr> <td>ユニバース</td> <td>桃色外弁 緑色</td> <td>多</td> <td>2L～3L</td> <td>花色の混じりに特徴あり。花は大きく、花首もやや長い。</td> </tr> <tr> <td>カフェラテ</td> <td>蕾時桃色 開くと明るい茶色</td> <td>中</td> <td>L～2L</td> <td>花の咲き方に特徴あり。開花やや早く、強い芳香あり。</td> </tr> <tr> <td>キングスプライド+</td> <td>橙色</td> <td>中</td> <td>L～2L</td> <td>花色に混じり無く、明るいオレンジ色。花は大きく豪華。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 規格は切り花長で 3L:80cm以上、2L:70cm以上80cm未満、L:60cm以上70cm未満</p>			品種名	花色	収量	主な規格	備考	ダンシングクイーン	蕾時白色 開くと桃色となる	多	L～3L	花色の変化に特徴あり。	タニア+	薄桃白色	中	L～2L	花色に混じり無く、柔らかな桃色。花首がやや短い。	ユニバース	桃色外弁 緑色	多	2L～3L	花色の混じりに特徴あり。花は大きく、花首もやや長い。	カフェラテ	蕾時桃色 開くと明るい茶色	中	L～2L	花の咲き方に特徴あり。開花やや早く、強い芳香あり。	キングスプライド+	橙色	中	L～2L	花色に混じり無く、明るいオレンジ色。花は大きく豪華。
品種名	花色	収量	主な規格	備考																													
ダンシングクイーン	蕾時白色 開くと桃色となる	多	L～3L	花色の変化に特徴あり。																													
タニア+	薄桃白色	中	L～2L	花色に混じり無く、柔らかな桃色。花首がやや短い。																													
ユニバース	桃色外弁 緑色	多	2L～3L	花色の混じりに特徴あり。花は大きく、花首もやや長い。																													
カフェラテ	蕾時桃色 開くと明るい茶色	中	L～2L	花の咲き方に特徴あり。開花やや早く、強い芳香あり。																													
キングスプライド+	橙色	中	L～2L	花色に混じり無く、明るいオレンジ色。花は大きく豪華。																													
期待される効果	バラ土耕栽培における品種選定の参考になる。																																
利用上の注意事項	年次や地域あるいは夏季の温度経過によっては収穫本数、品質に差が出る。																																
担当部署 (担当者名)	青森県農林総合研究センターフラワーセンター21あおもり 普及技術部（山内 俊範）	対象地域	県下全域																														
発表文献等	平成15年度指導奨励事項・指導参考資料等 平成18～20年度フラワーセンター21あおもり花き試験成績概要集																																

【根拠となった主要な試験結果】

表1 切り花品質

(平成20年 青森農林総研フラワーセ)

品種名	切り花長 (cm)	花首長 (cm)	花の高さ (cm)	節数 (節)	葉数 (枚)	茎径 (mm)	切り花重 (g)	収穫本数 (本/a)
ダンソククイーン	74.5	8.0	4.3	13.2	12.7	6.5	36.6	6,222.1
タニア+	70.2	6.4	4.8	14.5	14.0	7.6	51.8	3,951.2
ユニバース	80.9	10.6	5.2	15.6	15.3	7.9	57.3	5,450.0
カフェラテ	70.6	8.4	4.6	11.8	11.3	8.1	55.3	3,905.8
ツウイテイ+	66.3	7.9	4.5	13.6	13.4	8.2	57.4	2,361.7
ジュピター	66.2	7.8	4.7	12.8	12.6	6.3	32.7	3,224.6
キングスプライト+	71.8	8.6	4.9	11.7	11.6	8.1	55.3	3,497.1
ローテローゼ (参考)	74.1	8.4	4.5	12.3	11.8	6.6	37.1	4,905.0

(注) ~~~~~は有望に達していない数値

表2 規格別割合 (%)

(平成20年 青森農林総研フラワーセ)

品種名	3 L	2 L	L	M
ダンソククイーン	29.9	32.8	38.0	-
タニア+	12.6	37.9	46.0	3.4
ユニバース	50.0	38.3	11.7	-
カフェラテ	14.0	34.9	45.3	5.8
ツウイテイ+	1.9	25.0	63.5	9.6
ジュピター	4.2	25.4	64.8	5.6
キングスプライト+	16.9	37.7	45.5	-
ローテローゼ (参考)	25.0	41.7	33.3	-

(注) 3L : 80cm以上、2L : 70cm以上80cm未満、L : 60cm以上70cm未満、M50cm以上60cm未満

耕種概要

- 栽培環境 : ガラス温室
- 定植時期 : 平成18年5月9日
- 温度管理 : 最低室温5℃で管理
- 仕立方法 : 切り上げ方式
- 栽植様式 : うね幅150cm (ベット幅70cm、通路幅80cm) 株間24cm、条間40cmの2条植え (545株/a)
- 施肥量(kg/a) : 基肥 窒素 : リン酸 : 加里 = 1.5 : 1.5 : 1.5 (定植時)
追肥 窒素 : リン酸 : 加里 = 3.0 : 1.2 : 1.8 (週1回液肥窒素換算0.1kg施用)